

## 論文

# 保育者養成における「スポーツと健康」科目と授業のルーブリックを もとにした評価 —授業振り返りコメントのテキストマイニング分析を参考にして—

小 野 隆

## 1. はじめに

保育者養成課程の教員として、2020年度前期必修科目「スポーツと健康」を担当し、大学教育の質保証<sup>1)</sup>の意味でこれまで実施してきた授業内容の改善を進める中で、近年推進されているルーブリック評価の観点<sup>2)</sup>から、筆者は今回、幼稚園教諭養成における「スポーツと健康」に関する科目と授業の意義や内容の妥当性について検討することを試みた。

まず初めに筆者は、幼稚園教諭・保育士養成（免許状・資格に必要な単位）における「スポーツと健康」に関する科目の位置づけを確認する。次に、科目ルーブリックの意味を探り、現状の授業による学生の到達目標を達成するために試みてきた教育実践内容や方法について、ルーブリック評価をもとにした学修成果の可視化の観点から振り返る。さらに、どのようにしたら学生に本学授業科目「スポーツと健康」の内容の理解が得られるのかについて、その課題を探るため、リフレクションシートによる授業振り返りコメントのテキストマイニング分析を用い、それによる共起ネットワーク図<sup>3)</sup>などを参考として、学生の学びにどのように繋がっているか明らかにすることを目的とする。

## 2. 研究方法

### 1) 幼稚園教諭・保育士養成における「スポーツと健康」科目の位置づけ

文部科学省の幼稚園教諭や厚生労働省の保育士養成における一般教養または教養科目としての位置づけと領域に関する専門的事項としての位置づけについて、文部科学省のホームページ等の資料<sup>4)</sup>をもとに、本事例のカリキュラム上の位置づけについて確認する。

### 2) 学修成果の可視化

#### ①科目ルーブリックの意味

文部科学省の大学教育に関する内部質保証<sup>1)</sup>に向けた内容として、本事例のルーブリッ

クの意味について確認し、学修成果の可視化<sup>2)</sup>としての妥当性を検討する。

#### ②授業による学生の到達目標の達成度

本事例の授業毎のリフレクションシートおよび最終まとめレポートに記述された内容を確認し、学生の到達目標に基づく科目ルーブリックの学生による自己評価と、学生の到達目標に関連する内容の抽出により、その達成度について検討する。

### 3) 「スポーツと健康」の内容の理解度

#### ①リフレクションシートによる授業振り返りコメント

複数回の授業内容に関し、リフレクションシートに記述された学生によるコメントを抽出し、授業内容の理解度について検討する。

#### ②テキストマイニング分析による共起ネットワーク図と学生の学びに教育内容と教材が果たす役割

授業の学生による振り返りコメントのリフレクションシートについて、KH Coder によるテキストマイニング分析を実施し、共起ネットワーク図<sup>3)</sup>を作成し、授業内容の理解度とその特徴を検討する。学生の学びに繋がる教育内容であったか、教材が学びにどのように繋がっていたかについて、上記の結果や考察をもとに総合的に検討する。

## 3. 研究結果および考察

### 1) 幼稚園教諭・保育士養成における「スポーツと健康」科目の位置づけ

教職課程として認定を受けた単位以外に一般教養として修得すべき科目についても取得する必要があり<sup>4)</sup>、本学の「スポーツと健康」科目は、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める「免許法別表第一備考第4号に規定する文部科学省令で定める科目の単位は、日本国憲法二単位、体育二単位、外国語コミュニケーション二単位及び情報機器の操作二単位とする。」の「体育二単位」に相当する。本科目は、幼稚園教諭一種免許状取得のための必修科目であり、卒業選択必修となっている。また、保育士資格の必修となっている。

### 2) 学修成果の可視化

#### ①科目ルーブリックの意味

沖(2016)<sup>5)</sup>は、ルーブリックの必要性について、「学生にとって到達目標に箇条書きされた内容は、15週の授業期間が終了する際、最低限身につけていることが期待され、

最後にその達成度を測られるパフォーマンスである。またそれらが実際に、最も適切な手段で評価されることが成績評価の本来の主旨であるはずである。しかし往々にしてこの点が忘却され、成績評価が形骸化したり、信頼性を失ったりする例が後を絶たない。授業の到達目標を明確化し、その一つひとつに適切な比率をもって最適の評価手段を選択し、その評価手段の一つとしてルーブリック評価を採用することが、すべての取組の前提になると言えよう。」<sup>5)</sup> としている。

本研究では、「スポーツと健康」科目の学び全体の評価としての最終まとめのレポート「授業を受けて自分の中で変化した部分について」を課すと同時に、科目ルーブリックとして学生の到達目標の3項目に基づく評価指標と3段階の評価基準のルーブリックを作成し、学生に自己評価させることを試みた(図1-1,2,3)。その結果、学生が授業に積極的に参加するための動機付けの手段や、幼稚園教諭・保育士を目指す学生がなぜ「スポーツと健康」について学ぶ必要があるのかを理解するための手段となる可能性が期待できると考えられた。

## ②授業による学生の到達目標の達成度

「スポーツと健康」の科目ルーブリックについてグラフ化した(図1-1,2,3)。

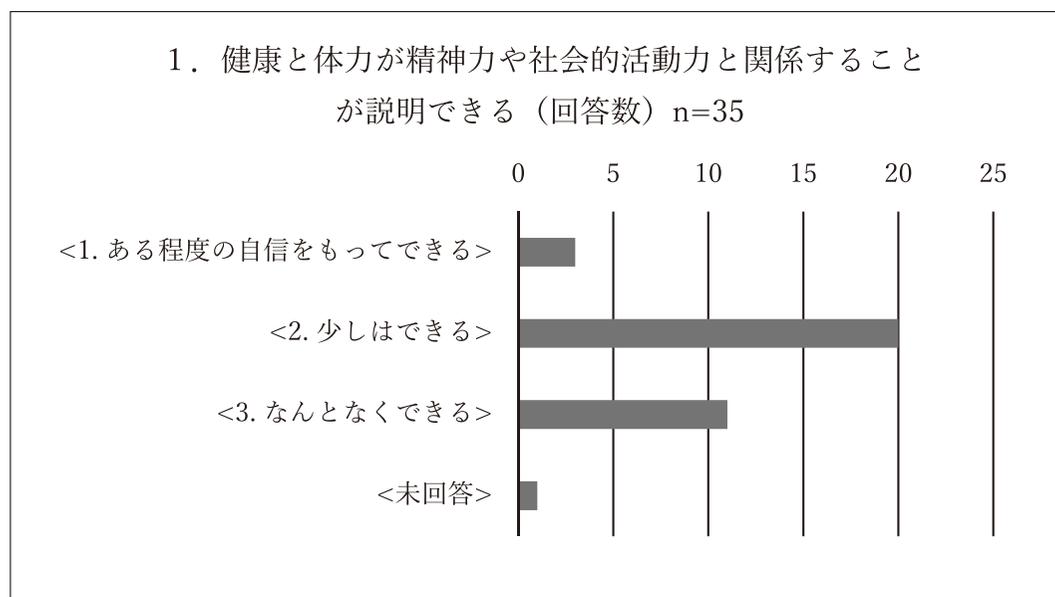


図1-1. 学生の到達目標1に基づく「スポーツと健康」の科目ルーブリックの回答

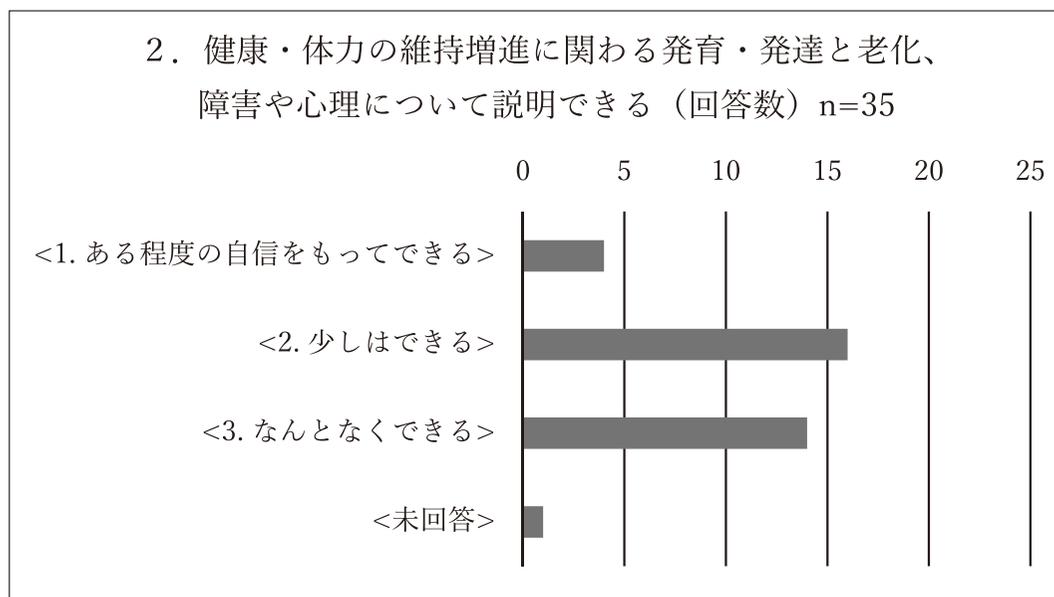


図 1-2. 学生の到達目標 2 に基づく「スポーツと健康」の科目ルーブリックの回答

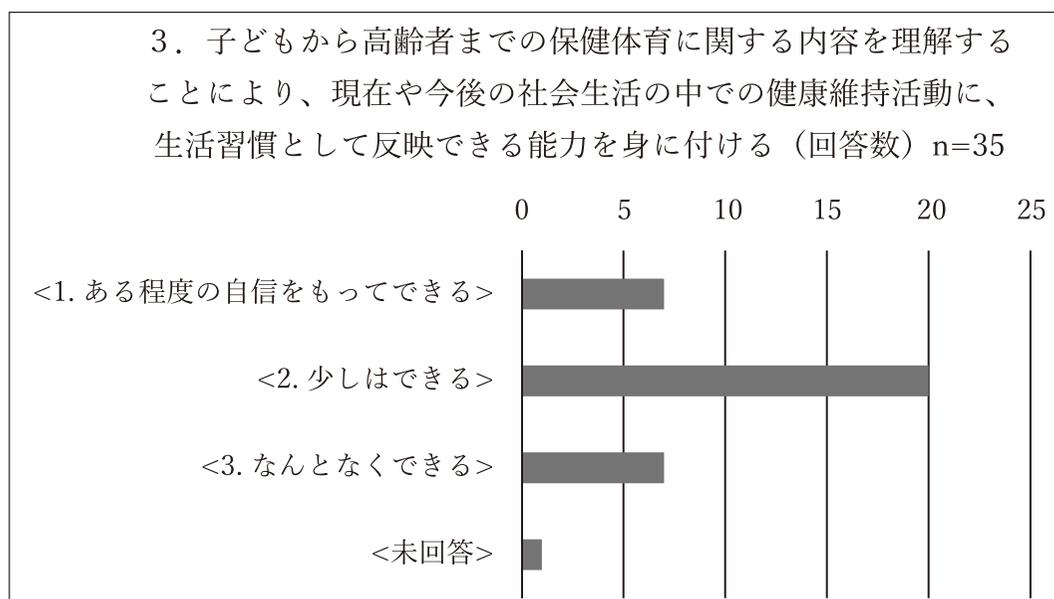


図 1-3. 学生の到達目標 3 に基づく「スポーツと健康」の科目ルーブリックの回答

いずれの評価指標においても、評価基準2の「少しはできる」が最も多数となった。1名の未回答者を除いて、「ある程度の自信をもってできる」「少しはできる」を合わせると過半数を超えた学生が選択していることから、学生の到達目標の達成度は異なるものの、自己評価としては概ねプラスの評価と捉えられ、あくまでも科目レベルの間接評価によるもの<sup>6)</sup>ではあるが、「スポーツと健康」科目の学修成果の可視化に繋がっていると考える。このことは、教育内容としての知識・技能に興味・関心を持ち、将来の職業生活や社会生活にどのように生かせるかを、学生に間接的に体験し考えられるように意図し、筆者がこれまでに改善し用意し提供してきた教材の効果を表すものといえよう。

### 3) 「スポーツと健康」の内容の理解度

#### ①リフレクションシートによる授業振り返りコメントによる自己評価

複数回の授業内容に関して学生によりリフレクションシートに記述されたコメントを抽出した結果、授業内容の理解度の高さについて確認することができた。

2020年度前期はコロナ禍の影響で、「スポーツと健康」の授業内容(〈回〉(形態・実施日)テーマ:[教材])としては、〈1〉(遠隔)オリエンテーション 〈2〉(遠隔)健康:[今どきの保育園幼稚園認定こども園] 〈3〉(対面 6/4) 体力:[じゃんだらりんりん体操] [子どもたちと笑いたい] 〈4〉(対面 6/11) 発育と発達:[昆虫太極拳][俺たちのリアル][7ルール] 〈5〉(対面 6/18) 加齢と老化:[ASLAD] [クロちゃん] [スタンツ] 〈6〉(対面 6/25) 障害:[食物アレルギー啓発絵本:ともくんのほいくえん] [太陽を愛したひと] [ほたるの光] 〈7〉(対面 7/2) 心理:[笑って進むよ] [ダイスケみたいになる!] [おしゃべりな絵] 〈8〉(対面 7/9) 遊び:[出川保育園] [ふたりの14歳] 〈9〉(対面 7/16) 生活:[版画家・名嘉睦稔] [見えないことは不幸じゃない] 〈10〉(対面 7/23) 運動:[子どものロコモ] [かがやくメロディー] 〈11〉(遠隔 8/6) 環境・安全管理:[障害者スポーツ論スライド] [愛知県障害者スポーツ指導者協議会プロモーション動画] 〈12〉(遠隔 8/20) まとめレポート: 8/27 提出締切日 〈13〉補講(遠隔) 創作:[目玉っ子] 〈14〉補講(遠隔) 工夫:[目玉っ子ストーリーズ] となった。これらの授業毎のリフレクションシートの記述からは、概ね学生たちの考え方の変化、新しい認識への変化や内容の理解度が上がっていることが推察された。

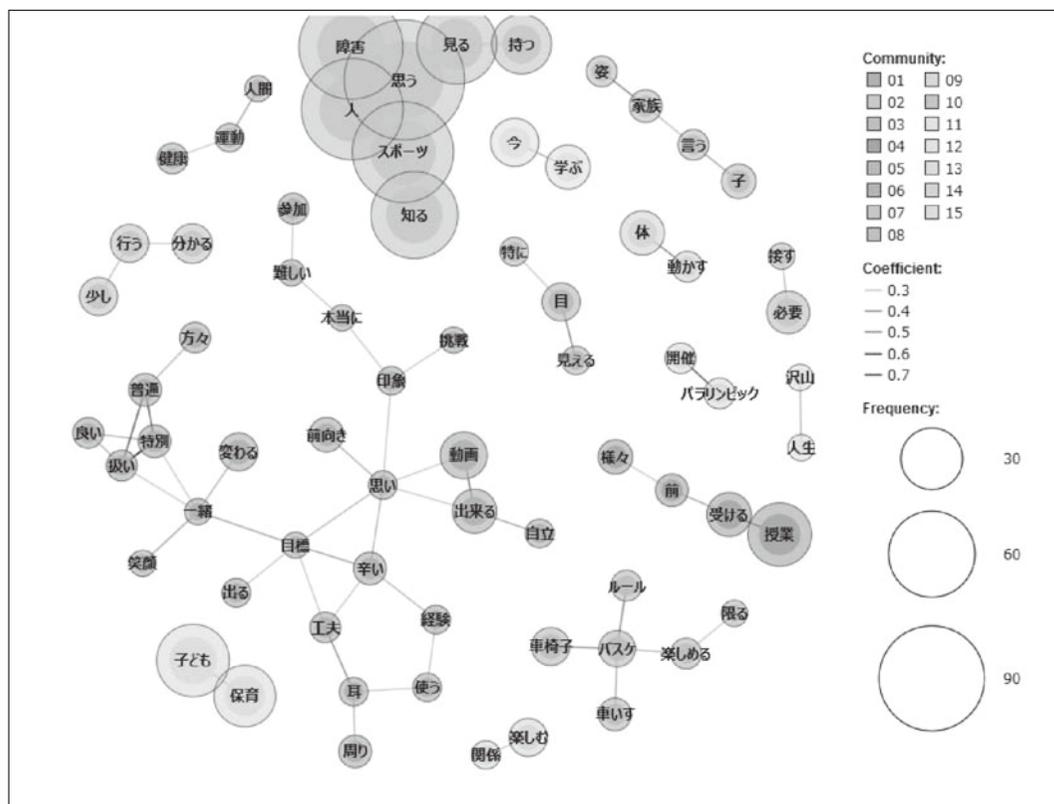


図2. 「スポーツと健康」まとめのレポートの共起ネットワーク図 (KH Coder による)

②テキストマイニング分析による共起ネットワーク図と学生の学びに教育内容と教材が果たす役割

この図2は、14回の授業を振り返り、「授業を受けて自分の中で変化した部分」のコメントから作図したものである。授業を受ける前と比較し、様々な人間やスポーツに関連する内容の動画を見て解説を聞くという間接体験を通して、子どもや保育に対する考え方の変化を感じ取っている様子が明らかとなった。学生たちによる前述の「科目ルーブリック」の結果や、この「まとめのレポート」の記述内容からのテキストマイニング分析により、授業内容や教材に関し、授業担当教員として評価することを今回試みたが、学生にとって総じて良い学びとなっていたのではないかと考える。

4. おわりに

本研究では、幼稚園教諭養成における「スポーツと健康」科目の位置づけに合わせ、そ

の学修成果の可視化のために科目ルーブリックの意味を検討した。授業による学生の到達目標の達成度を評価することにより、授業内容に合うよう選択された教材などを通して学生の良い学びに繋がっていたことが明らかとなった。

今後は、学生の到達目標を基にしたルーブリック評価の3項目の変化をレーダーチャートに表示し、授業の進度に応じた変化を捉えることが学修成果の可視化につながるかどうか検討し、PDCA サイクルを回して内部質保証システムの構築にも繋がりたいと考える。

## 引用文献

- 1) 「大学教育の質保証に関する参考資料（資料 2-5）」文部科学省 中央教育審議会 2015  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo4/015/gijiroku/\\_icsFiles/afiel\\_dfile/2015/12/25/1365312\\_10.pdf](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/015/gijiroku/_icsFiles/afiel_dfile/2015/12/25/1365312_10.pdf)  
(2020 年 11 月 3 日閲覧)
- 2) 「学習評価に関する資料（資料 6-2）」文部科学省 中央教育審議会総則・評価特別部会 2016  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/061/siryu/\\_icsFiles/afiel\\_dfile/2016/02/01/1366444\\_6\\_2.pdf](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/061/siryu/_icsFiles/afiel_dfile/2016/02/01/1366444_6_2.pdf)  
(2020 年 11 月 3 日閲覧)
- 3) 樋口耕一 『社会調査のための計量テキスト分析—内容分析の継承と発展を目指して』ナカニシヤ出版 2014
- 4) 「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目について」文部科学省  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/kyoin/1381891.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kyoin/1381891.htm)  
(2020 年 12 月 3 日閲覧)
- 5) 沖裕貴 「大学におけるルーブリック評価導入の実際—公平で客観的かつ厳格な成績評価を目指して—」『立命館高等教育研究』立命館大学教育開発推進機構 71-90, 2014
- 6) 松下佳代, 京都大学高等教育研究開発推進センター, 「学習成果とその可視化(資料 1)」中央教育審議会大学分科会 教学マネジメント特別委員会 (第 6 回) 2019  
[https://www.mext.go.jp/kaigisiryu/2019/07/\\_icsFiles/afiel\\_dfile/2019/07/04/1417846\\_2.pdf](https://www.mext.go.jp/kaigisiryu/2019/07/_icsFiles/afiel_dfile/2019/07/04/1417846_2.pdf)  
(2020 年 11 月 3 日閲覧)

## **Evaluation Based on Rubrics of Subjects and Classes Related to Sports and Health in Childcare Training : Refer to the Text Mining Analysis of The Class Review Comments**

Ono, Takashi\*

本研究では、幼稚園教諭養成における「スポーツと健康」科目の位置づけに合わせ、その学修成果の可視化のために科目ルーブリックの意味を検討し、授業による学生の到達目標の達成度を評価することを試みた。また、授業の最終課題レポートの記述内容からのテキストマイニング分析を行った。その結果、授業内容の選択された教材などを通して、学生の良い学びに繋がっていたことが明らかとなった。

キーワード：保育者養成, スポーツと健康, 科目ルーブリック, テキストマイニング